

# 新たな種類の J A S 規格調査委託事業

## <対策のポイント>

戦略的なJAS規格・認証の制定・活用の推進により、我が国の食品産業・農林水産業の競争力の強化を図ります。

## <政策目標>

- ・ 農林水産物・食品の輸出額の拡大（8,071億円 [平成29年] → 1兆円 [平成31年まで]）
- ・ 新たなJASを平成32年度までに20以上制定する

## <事業の内容>

### 1. 国際的な規格・認証の動向の調査・分析

- ✓ 規格・認証の国際化成功事例、主要国における国際協力・連携事例を収集し、国際化に向けた戦略・ノウハウを蓄積

### 2. 評価・測定方法の規格化推進

- ✓ 我が国の製品の優位性を証明するための測定方法について、その妥当性の評価を行い、規格素案を作成

### 3. 高付加価値化JAS開発

- ✓ 規格制定に向けた基準設定の根拠となるデータ収集や関係者間の調整を行い、規格素案を作成

### 4. 体制強化に向けた人材育成

- ✓ 国際的に通用する専門家養成研修を開催
- ✓ 認証機関向け能力向上研修を開催

### 5. 国際規格化の推進

- ✓ 国際規格制定に向け、国際規格化戦略の検討、海外との折衝・調整等を実施

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 戦略的なJAS規格・認証の制定・活用の推進

- 規格・認証の国際戦略の充実
- 強みのアピールにつながるJASの制定、国際規格化

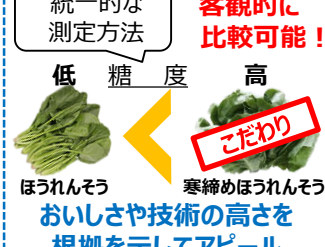
#### ■ 製法の規格

例えば、伝統的な抹茶をアピールするため、我が国特有の製法を規格化。



#### ■ 測定方法の規格

例えば、品質や栽培技術の高さをアピールするため、成分の統一的な測定方法を規格化。



#### ■ 管理方式の規格

例えば、鮮度をアピールするため、定温保管・輸送方式を規格化。能力を有する事業者を認証。



- JAS規格・認証の国際的な影響力の向上
- 国際的に通用する専門人材の確保

我が国の食品産業・農林水産業の競争力強化

【お問い合わせ先】 食料産業局食品製造課基準認証室(03-6744-2098)

# 予算事業による規格素案作成の流れ

## ● 今回の調査

J A S の制定  
等のテーマ  
(提案募集)

選定

## ● 予算事業（農林水産省が選定した規格化のテーマについて実施）

検討体制の  
構築  
(テーマ毎)

基本戦略の  
設定  
(テーマ毎)

規格素案の  
作成  
(テーマ毎)

- ・ 事業者、業界団体、研究機関、自治体、学識経験者等に加え、農林水産省・FAMICで構成

- ・ 目標・目的の設定
- ・ 検討の進め方（活用する国際的枠組み、支持層作りを含む）

など

- ・ 技術的データの収集、調査
- ・ 関係者間の調整

など